今度の出し物について

岸田國士

青空文庫

岡田禎子さんの「クラス会」は、一読してこれはなかなか面白いものだと思つた。女ばかりの舞台といふ仕組みはともかく、女でなければ書けない心理と情景のニユアンスが、みごとに私を捉へた。女優さんたちの「練習曲」としても相当歯ごたへのある、恰好なものであるし、これに男ばかりの舞台を一幕並べることにでもしたら、ちよつと変つた趣向ではあるまいかと、瞬間、興行師の頭になる。

ところが、次に、徳川夢声君といふ難物のために、稽古の便を計つて、小人数の一幕を考へねばならぬ段になり、ふと頭に浮んだのが、辰野氏の「父と子」である。これが偶然、誂へ向きの男ばかりとは、少々くすぐつたい次第であつた。

さて、もう一つは、小山祐士君の「魚族」であるが、これは、同作者の代表作「瀬戸内海の子供ら」の「妹」たるべき佳作で、みつちり稽古のし甲斐のあるものである。なにぶん登場人物が多く、その上、写実味のあふれたこの芝居では、年配も一座の俳優では無理だとわかつてゐながら、敢てやることにしたのは、幸ひ、東山、毛利両女史の客演を得たからである。

その代り、当てにしてゐた堀越、中村、宮口の諸君が何れも、病気その他で出られなくなつたことは、全体の配役に齟齬を生じた。未経験の研究生を一人、臨時に使つてみた。

「クラス会」は久保田万太郎氏が、「父と子」は岩田豊雄氏が、何れも自ら演出を買つて出たといふことを特筆せねばならぬ。

私は、実は、健康を慮り、今度は演出の役はごめん蒙りたかつたのだが、岩田幹事がたつてやれといふので止むを得ず引き受けた。田中千禾夫君と作者自身とが、私の及ばないところを手伝つてくれた。

青空文庫情報

底本：「岸田國士全集24」岩波書店
1991（平成3）年3月8日発行
初出：「文学座第2回試演　パンフレット」
1938（昭和13）年6月6日発行
入力：tatsuki
校正：門田裕志、小林繁雄
2005年3月16日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

今度の出し物について

岸田國士

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/